

**北九州市 児童福祉施設等
第三者評価 結果票
ニチイキッズ本城中央保育園**

1 施設・事業所の概要

- | | |
|---------------|----------------------|
| (1) 事業者名（法人名） | 株式会社 ニチイ学館 |
| (2) 事業所名 | ニチイキッズ本城中央保育園 |
| (3) 設立年月日 | 平成28年4月1日 |
| (4) 定員 | 19名 |
| (5) 所在地 | 八幡西区本城三丁目8番4号 原田ビル本城 |
| (6) 電話番号 | 093-693-4811 |

2 評価実施日

令和元年11月7日

3 評価実施者

北九州市（北九州市児童福祉施設等第三者評価委員会）

4 評価結果

総合評価

ニチイキッズ本城中央保育園は地域型保育施設の事業所で、八幡西区本城のマンションや民家に囲まれた場所に位置しています。周囲には緑地や公園、郵便局があり、緑が多く自然と触れ合う散歩コースとなっています。隣には高齢者福祉施設があり、定期的に高齢者交流を行っています。家庭的な雰囲気の中で「おもいっきり遊ぶ」を大切にされた保育が行われています。

I 子どもの発達援助

全体的な計画は事業所の保育理念や保育方針に基づき作成されていますが、保育所保育指針に基づいて編成し見直しを適正に行うことと、事業所の独自性を盛り込むことが望まれます。指導計画は評価・見直しに当たり園長が助言指導を行い、次の計画に反映され生かされていますが、さらに全体的な計画及び指導計画に基づいた各年齢に応じたねらいと内容を組み込むことが望まれます。0歳児個別指導計画についても、一人一人の子どもの実態に即して作成することが望まれます。健康管理については、嘱託医と連携を取り相談や情報収集を行い、保護者にも情報提供をしています。健康診断の結果を文書と口頭で保護者に知らせており、職員にも周知しています。感染症に関するマニュアルを整備し、保護者には保健だよりなどで予防対策や発生時の情報提供を行っています。食事については、給食だよりやレシピを配布し、食育について啓発が行われ、子どもの食事の様子は連絡帳や口頭で伝達されています。保育環境については、換気や室温にも配慮し、定期的に玩具や寝具、保育室内外の清掃・消毒を行い衛生管理表に記録するなど快適に過ごせるようにしています。保育士は、制止や禁止の言葉を不必要に使用することがないように配慮し、子どもの状況に応じて部分的に手伝うなどの援助をしています。さらに、子どもの発達に応じて玩具や遊具を用意し、子どもが自発的に遊べる環境の整備が望まれます。また、子どもの発想が生かされるような保育士の援助や、戸外で体を十分に動かして楽しめる遊びを計画することも望まれます。子どもが小動物と触れ合うことができる環境づくりへの工夫や、年間を通しての菜園活動や植物の栽培が望まれます。乳児保育は、連絡帳等で保護者と連携を取りながら一人一人の状態を把握し、きめ細かく関わり、睡眠時にはSIDSの対応に十分注意しています。

II 子育て支援

保護者との信頼関係を深めるため、登降園時の日常的な会話や連絡帳を利用したコミュニケーションをとっています。玄関には行事や園紹介のパンフレットを置き、情報提供を行っています。4月にクラス懇談を実施し、個別ファイルには保育帳票や面談内容が記録され、関係職員に周知されています。児童虐待に関する研修会へ参加し、対応や啓発に努めています。

III 地域の住民や関係機関等との連携

散歩を通して地域の方々に挨拶を行っています。近隣住民へ理解を求める内容については、掲示ボードに内容を掲示し、協力をお願いをしています。隣接する高齢者福祉施設との交流を行っています。さらに地域との連携を深めるため、民生委員・児童委員や主任児童委員、市民センターや警察署等との連携を通じた情報の共有をすることが望まれます。

IV 運営管理

保育理念・基本方針が明文化されており、全ての職員を対象とした研修が実施され周知されています。外部研修の他、園内研修が毎月実施されており、職員の研修の機会を確保しています。

守秘義務の遵守に関する規程、個人情報保護に関する規程、就業規則などの規程、感染症や危機管理マニュアルなど整備され活用、周知されています。今後は、整備されたものを地域型保育施設として、園独自の地域性や視点を加えた策定が望まれます。

評価対象ごとの評価（概要）

I 子どもの発達援助

一人一人の子どもの状況に配慮した保育が展開されているか、保育にふさわしい環境が整っているかなどを評価したものです。

評価対象	評価結果
発達援助の基本	<p>計画・記録 全体的な計画は事業所の保育理念や保育方針に基づき作成され見直しがされていますが、今後、保育所保育指針に基づいて編成し、園の独自性を適切に盛り込むことが望まれます。指導計画は、評価・見直しに当たり園長が助言指導を行い生かされていますが、さらに全体的な計画に基づいた各年齢に応じたねらいと内容を組み込んだものにするのが望まれます。0歳児個別指導計画についても、一人一人の子どもの実態に即して作成することが望まれます。保育の記録は継続的に記録されています。</p> <p>会議 気になる子どもについてミーティングで検討し、内容は記録の回覧にて職員に周知されています。その結果は保護者にも伝え、専門機関との連携を図っています。</p>
健康管理・食事	<p>健康管理 嘱託医と連携を取り、相談や情報収集を行い、保護者にも情報提供をしています。保健計画が整備されています。健康診断の結果を文書と口頭で保護者に知らせており、朝礼・終礼で職員にも周知しています。北九州市の実施している乳幼児健診受診状況の一覧表を作成し、受診の働きかけと結果の確認を行っています。</p> <p>感染症 感染症に関するマニュアルを整備し、保護者には保健だよりなどで予防対策等の情報提供を行い、発生時は状況を掲示板で連絡しています。予防接種一覧表を作成し、保護者に接種を働きかけています。</p> <p>食事 アレルギー除去食はいつでも対応できるようマニュアルを整備し、食器やテーブル等の準備もしています。給食だよりやレシピを配布し、食育について啓発が行われています。個人差や食欲に応じて量を加減し、おかわりを準備するなどしています。子どもの食事の様子は、調理員が給食時に保育室で子どもと関わりながら喫食状況を把握し、内容については保護者に連絡帳や口頭で伝達されています。</p>
保育環境・保育内容	<p>保育環境 保育室に温度・湿度計を設置し換気や室温にも配慮しています。定期的に玩具や寝具、保育室内外の清掃・消毒を行い、衛生管理表に記録され快適に過ごせるよう心がけています。</p> <p>保育内容 子ども一人一人の気持ちを受容し、おだやかに関わる保育士の姿が見られました。制止や禁止の言葉を不必要に使用することがないよう配慮され、子どもの状況に応じて部分的に手伝うなどの準備をしています。さらに、子どもの発達に応じて玩具を用意し、子どもが自発的に遊べる環境の整備が望まれます。また、子どもの発想が生かされるような保育士の援助や、戸外で体を十分に動かして楽しめる遊びを計画することも望まれます。子どもが小動物と触れ合うことができる環境づくりへの工夫や、年間を通しての菜園活動や植物の栽培が望まれます。</p> <p>各保育室に年齢に応じた絵本を用意し、保育士が年齢や目的、季節などに合わせた絵本を選び、読み聞かせをしています。乳児保育は連絡帳等で保護者と連携を取りながら一人一人の状態を把握し、きめ細かく関わっています。睡眠時にはSIDSの対応に十分注意しています。</p> <p>人権・性差 子どもが自分の思いを保育士等に伝えることができる雰囲気を作るよう配慮しています。保育士等が性差に対する固定観念をもたないように心がけていました。</p> <p>延長保育・障害児保育 障害児や特に配慮を要する子どもへの関わり方を園内研修で話し合い、いつでも受け入れられるように準備しています。</p>

II 子育て支援

子育てに関する保育所と保護者との相互理解や、地域における子育て支援の取組等を評価したものです。

評価対象	評価結果
者の育児支援 入所児童の保護	保護者との関係・虐待 保護者との相互理解を深めるため、登降園時の日常的な会話や連絡帳を利用してコミュニケーションを取っています。玄関には行事や園紹介のパンフレットを置き情報交換を行っています。4月にクラス懇談を実施しており、個別ファイルには保育帳票や面談内容が記録され、関係職員に周知されています。児童虐待に関する研修会へ参加し、対応や啓発に努めています。今年度から個人懇談会も計画されていますが、今後は、保護者同士の関わりや保育参加への支援が望まれます。
支援 地域の子育て	地域支援・一時保育 組織のホームページが開設され、園の情報を提供しています。未就園児対象の「わくわく広場」を実施して子育て相談に応じています。

III 地域住民や関係機関等との連携

地域の最も身近な児童福祉施設としての役割を果たしているか、関係機関等との連携を図っているかなどを評価したものです。

関・団体との連携 地域の住民や関係機関	地域での役割・その他機関との連携 散歩を通して地域の方々に挨拶を行っています。近隣住民へ理解を求める内容については、掲示ボードに内容を掲示し、協力をお願いをしています。隣接する高齢者福祉施設との交流を行っています。さらに地域との連携を深めるため、民生委員・児童委員や主任児童委員、市民センターや警察署等との連携を通じた情報の共有をすることが望まれます。
実践・ボランティア	実習等の受入 保育実習、ボランティアのマニュアルが作成され、受け入れ体制を整えています。

IV 運営管理

保育に関する基本方針等が策定されているか、職員研修等の取組がなされているかなど、組織としての運営管理を評価したものです。

組織運営 基本方針	理念・方針 保育理念・基本方針が明文化されており、全ての職員を対象とした研修が実施され周知されています。外部研修の他、園内研修が毎月実施されており、職員の研修の機会を確保しています。 保育の質の向上・研修 組織として研修システムが整備されています。北九州市の研修にも参加して、職員の研修機会を確保しています。参加した研修や自己評価の記録は職員個人ファイルにまとめられており、所内研修にて周知されています。
安全・衛生管理 情報提供 守秘義務の遵守	守秘義務・情報・安全 守秘義務の遵守に関する規程、個人情報保護に関する規程、就業規則などの規程や感染症や危機管理マニュアルなど整備され活用、周知されています。 今後は、整備されたものを地域型保育施設として、園独自の地域性や視点を加えた策定が望まれます。